

# 小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 泉崎 春海



平成25年9月号

No. 457

## 夏の体験を活かして

校長 泉崎 春海

夏休みが終わり、子供たちの元気な声もどってきました。今年は連日の猛暑で、熱中症等が心配されましたが、子供たちが大きなけがや病気等もなく、元気に過ごせて良かったです。

「夏休み、楽しかった？」と聞くと、笑顔で「海に行って泳いだよ。」「初めてキャンプをしたよ。」と、それぞれの夏休みの思い出を口々に話してくれます。また、自由研究で取り組んだ作品を大事に持って来て、「～について調べたんだ。」「～を作ったんだ。」と得意げに話してくれる子供たちもいました。

夏休み前の全校朝会で、子供たちに「夏休みは、普段なかなかできないことに挑戦するよい機会です。自分でどんなことをするか計画を立てて、いろいろな体験をしてください。」という話をしました。夏休み後の子供たちの話からは、それぞれの挑戦や頑張ったことが伝わってきます。

学校のプールに通っていろいろな泳ぎ方を身に付け、たくさん泳げるようになった子。様々な本を読んで感想文を書いた子。暑さに負けずに、外でスポーツに励んだ子。学校から持ち帰ったアサガオなどの植物の世話を一生懸命にして観察を続けた子。他にも様々な経験や体験をしたことでしょう。

何かを一生懸命に行ったことや続けて取り組んだことは、子供たちの自信になり、今後の挑戦の原動力となります。また、自分で見たこと、聞いたこと、肌で感じた体験からは、大きな学びがあります。通常の学校の授業では体験できないことをできるのが、夏休みの良さです。

いよいよ前期も後半に入ります。夏休みの間の体験で学んだことや身に付けた力を、是非これから活かして行ってほしいと思います。

この先、まだまだ残暑が続くようです。毎日、元気に学校に通うことができるように、「睡眠をしっかり取る」「朝ご飯を食べる」「こまめに水分をとる」ことに気を付けてほしいと思います。体がまだ「夏休みのリズム」になっている子供たちもいるでしょう。9月末には運動会があるため、もう少しすると運動会の練習が始まります。学校生活のリズムに早く体をならして、元気に登校できるように、ご家庭でもご協力をお願いいたします。